

大学生と農山漁村との連携事例



神戸学院大学

実施主体名：竹林整備・竹資源活用プロジェクト

担当窓口

神戸学院大学 現代社会学部

URL

https://www.kobegakuin.ac.jp/education/faculty_social/news/ffe1f367688025d22134.html



活動内容

荒れた竹林の整備と竹資源の活用について、大学、行政機関、地域住民等と協力しながらプロジェクトを開始。現代社会学部の学生が中心となって、竹の切り出し、竹林周辺の草刈りや倒木の処理や撤去等の竹林整備を行うとともに、竹林から採した竹を粉碎し竹チップとして加工して堆肥や飼料に活用するなど、竹資源の可能性の探求と有効活用する取組を行っている。



きっかけ

全国の竹林の手入れがなされず枯れた竹などが放置され荒れている現状や、竹林の荒廃により山村が侵食され、獣害の助長や景観が破壊されるという社会問題を解消するため、産学官連携の必要性や、放置竹林の整備・伐採後の竹の利活用について研究を始めたことがきっかけ。



展望

定期的な竹林の観察や産学官が連携した継続的な情報交換を行う。また、給食残渣と竹チップを活用して製造した堆肥を小学校の校内菜園等で活用するなど、土づくりから農作物の栽培を行っていく。



竹林整備の様子



整備された竹林



竹チップづくりの様子